

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-114	中学校	外国語	英語	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15三省堂	英語 903	NEW CROWN English Series 3		

1. 編修の基本方針

① 理念・目標

本書の編修にあたっては、英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を、それぞれの学校段階に応じて育成することを教育理念とし、それを実現するための目標として、4つの力を育成することを目指しました。

1 ことばを使う力を育てる

ことばを使って理解し、表現し、伝え合いながら、実際のコミュニケーションで活用できる確かな英語力を育成します。

2 他(人や文化)とかかわる力を育てる

さまざまな人や文化などに触れながら、社会の多様性を理解しかかわっていく力と、豊かな心を育成します。

3 考える力を育てる

さまざまな活動を通して、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図る力と、論理的・批判的に考える力を育成します。

4 学びに向かう力を育てる

多様な学び方を体験しながら、学ぶことを楽しむ心と、主体的・協働的に学ぶ力を育成します。

② 編修方針

教育基本法に掲げる目標を達成するために、5つの基本方針に基づいて編修しました。

1 小学校での学びを生かして、中学校での学びにスムーズに接続する

小学校英語の教科化に伴う小学校での体験をふまえ、円滑に中学校での学びへとつなぐレッスン構成

2 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を育成する

言語材料を身につける GET と、それらを活用して言語活動に取り組む USE を配置したレッスン構成

3 5領域のバランスに配慮し、対話的な学びや深い学びを引き出す言語活動を充実させる

小学校英語の教科化と、中学校英語で取り扱う言語材料の増加に対応し、高度化された言語活動

4 生徒の知的欲求にこたえる題材、人間教育に資する題材を選定する

生徒の知的好奇心や興味・関心、発達段階に合った題材やテーマ、多様な文化などに触れる題材

5 生徒の主体的な学びを支援し、学びに向かう力を育てる資料の充実をはかる

自律的な学習をサポートする資料やQRコード、CAN-DO リストなどを配置

3 充実した言語活動

Take Action! Listen

現実の使用場面に近い英文を聞き、目的や場面、状況に応じて、必要な情報や概要、要点を捉える力を養います。

Take Action! Talk

言語の使用場面や働きを整理し、目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合う力を養います。

Sounds (Listen, Talk ページ下)

つづりと音の関係、韻律や音変化など、英語の音声について、発音型アプローチで学びます。

Reading for Fun

世界中で読まれている文学作品を、登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読みます。

Reading for Information

現実の使用場面に近い英文を読み、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を読み取る力を養います。

Project

領域統合型の活動を3回設定。それまでに培った知識と技能を活用して、表現したり伝え合ったりする力を養います。

GET Plus

提示された場面での会話中の表現と言語の働きを学び、実際に言語を使う場面で活用する力を養います。

文法のみまとめ

学んだ文法事項をまとめて振り返ったり、関連する文法事項を横断的に整理したりします。

[付録] What Can I Do?

1年間の学習を通して、どんなことができるようになったかを自己評価し、学習を振り返ります。

4 題材

ことばを使う ことは思いを伝えること

Lesson 2



Languages in India

Lesson 7



For Our Future

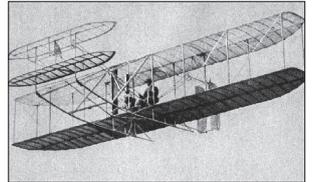
かかわる ことは違いを認め合うこと

Lesson 4



The World's Manga and Anime

Lesson 6



Imagine to Act

考える ことは自分と向き合うこと

Lesson 1



Stand by Me

Reading for Fun 3



Learning from Nature

学ぶ ことは自分の可能性を広げること

Lesson 3



The Story of Sadako

Lesson 5



I Have a Dream

5 自律的な学習を支援する資料の充実

For Self-study

辞書の活用など、英語学習の参考になる情報を提供します。

ロールプレイスーツ

Take Action! Talk に対応したロールプレイの指示書。指示にしたがってペアで即興のやり取りする活動を行います。

いろいろな単語

言語活動で使える語句・表現を、カテゴリーごとに提示しています。

スクリプト

Take Action! Listen の音声のスクリプト。文字を見ながら、音声をくり返し聞いて復習します。

QRコード

本文テキスト、新出の語句・表現、話すこと〔やり取り／発表〕の活動のモデル英文などの音声を提供します。



Text
Words

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (3年)
題材	①取り扱う題材は、生徒の知的欲求に合致するものを選択しました。(第1号)	Starter Best Music of All Time Lesson 4 The World's Manga and Anime
	②物語では、生徒の感性に訴える作品を配置しました。(第1号)	Lesson 3 The Story of Sadako Reading for Fun 1 Zorba's Promise Reading for Fun 2 A Present for You
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮するなかで、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材を扱いました。(第2号)	Lesson 1 Stand by Me Lesson 6 Imagine to Act Lesson 7 For Our Future
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱いました。(第3号)	Lesson 5 I Have a Dream Further Reading 1 A Vulture and a Child Further Reading 2 A Moment of Peace
	⑤自然科学、環境を扱いました。(第4号)	Reading for Fun 3 Learning from Nature
	⑥日本の伝統文化、および他国の文化を扱いました。(第5号)	Lesson 2 Languages in India
言語活動	①各課の言語活動においては、取り組む生徒の個性・創造性・自主性が発揮されるように配慮しました。(第2号)	USE Write (pp.26-27, 44-45, 96-97) おすすめの日本語を紹介しよう おすすめの本を紹介しよう 英語の詩を書こう Project 1 (pp.32-33) 日本限定アイスクリームを提案しよう
	②言語活動においては、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題などの題材を扱いました。(第2号, 第4号, 第5号)	USE Write (pp.60-61, p.78) ボランティアの自己PRカードを書こう 招待状を書こう Project 2 (pp.84-86) 国際交流イベントに出展しよう USE Speak (p.112-113) 20歳の自分にビデオメッセージを作ろう
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮しました。(第3号)	Project 3 (pp.118-121) ディスカッションをしよう GET Plus p. 48, 100, 114 Take Action! Talk p. 17, 29, 47, 63, 81, 99 付録 pp.51-52 ロールプレイスシート
付録	生徒の自律的な学びを支える付録を配置しました。(第2号)	For Self-study (教科書の外で英語に触れよう) QRコード (本文テキスト, 新出語句) 付録 (付録 pp.2-54, 後①) 英語の歌, Words to Remember, 基本文のまとめ, いろいろな単語, 不規則動詞活用表, 形容詞・副詞比較変化表, いろいろな符号, 単語の意味, 会話表現, ロールプレイスシート, スクリプト, What Can I Do?
登場人物	登場人物の配置及び活動については、男女・出身地域の偏りがないように配慮しました。(第3号, 第5号)	全課を通して登場するメインキャラクター, それぞれの活動の登場人物
構成	教科書の使い方, 学ぶ目標, 学ぶプロセス, 学ぶポイントなどが、生徒にわかりやすく提示され, 学ぶ意欲を喚起し, 自ら学ぶ力が育成されるように配慮しました。(第2号)	レッスンとびら, レッスン構成 (GET→USE), 文法のまとめ, For Self-study (p.34), What Can I Do? (後①)

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

◎ カラーユニバーサルデザインへの配慮

- ▶ カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました。

◎ 特別支援教育への配慮

- ▶ 特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な生徒への配慮と対応をしています。

◎ 学習上の配慮

- ▶ 基本的に見開き構成とし、学習する内容が一目でわかるようにしました。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、学習に集中できるように配慮しました。
- ▶ 教科書に登場する人物は、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。
- ▶ 音声を用いて自律的に学習できるよう、音声を提供する QR コードを配置しました。
- ▶ 1 年前半の書くためのモデルとなる英文には、オリジナルの手書きフォントを使用しました。また、それ以外の部分でも、ユニバーサルデザインフォントやオリジナルのブロック体フォントを使用し、視認性や可読性が高まるよう配慮しました。

②環境にやさしい教科書づくり

- ▶ 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- ▶ インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-114	中学校	外国語	英語	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 903	NEW CROWN English Series 3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 小学校での学びを復習しながら, 円滑に中学校での学びにつなげられるようにしました。

(1年 Lesson 1~3)

例 1年 Lesson 1

Part 1 ① 聞いてみよう・話してみよう

小学校で体験した場面や似た状況での対話や発表を聞いて, これまでの学びをふり返ったり, ふり返ったことを踏まえて, ペアやグループで対話したり, 発表したりします。

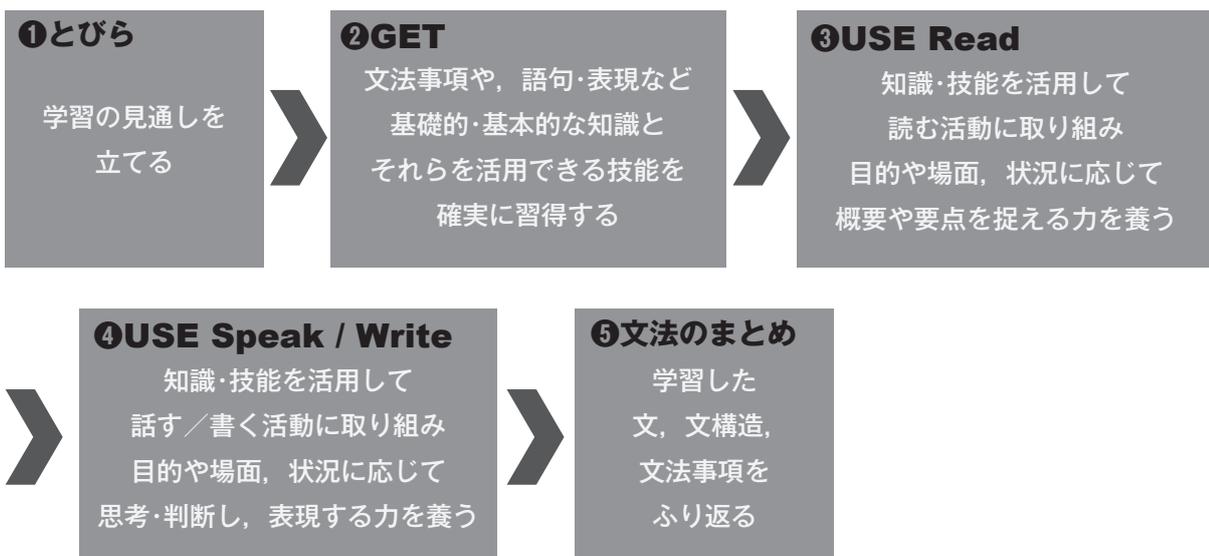
Part 1 ② POINT・Drill

Part 1 ①で聞いたり話したりした英文を取り出し, POINT で文や文構造を整理したり, POINT の文を活用して, 提示された絵と語句を参考に Drill でくり返し練習します。

Part 1 ③ Read・Write

Part 1 ②で整理した POINT の文と新しい語句を含む, まとまりのある英文を読んだり, POINT の文を短い文脈の中で活用し, まとまりのある英文を書いたりする練習をします。

2 学びのプロセスを「見える化」し, 学習の流れがわかりやすいレッスン構成にしました。

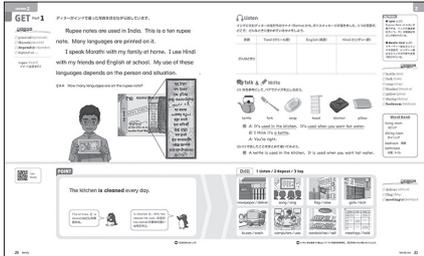


3 基礎的・基本的な知識・技能を習得するページを適切に配置・配列しました。

聞く・読む・話す[やり取り]・話す[発表]・書く

GET

文法事項や文構造、語句・表現などを、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの活動を通して身につけます。



GET Plus

提示された場面での会話中の表現と言語の働きを学び、実際に言語を使う場面で活用する力を養います。



文法のまとめ

学んだ文法事項をまとめてふり返ったり、関連する文法事項を横断的に整理したりします。



4 5領域のバランスに配慮し、思考力・判断力・表現力を養う言語活動を充実させました。

Take Action! Listen **聞く**

現実の使用場面に近い音声聞いて、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を聞き取ったり、音声の概要や要点を捉えたりする力を養います。

USE Read **読む**

既習の文法事項を活用して、さまざまなジャンル/テキストタイプの英文を読み、目的や場面、状況に応じて、英文の概要や要点を捉える力を養います。

Reading for Information **読む**

現実の使用場面に近い英文を読んで、目的や場面、状況に応じて、自分が必要な情報を読み取る力を養います。

Take Action! Talk **話す[やり取り]**

言語の使用場面や働きを整理し、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを即興で伝え合う力を養います。

USE Speak **話す[発表]**

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理し、即興で話したり、まとまりのある内容を話したりする力を養います。

USE Write **書く**

既習の文法事項を活用して、目的や場面、状況に応じて、正確に書いたり、自分の考えや気持ちなどを整理してまとまりのある内容を書いたりする力を養います。

Project **領域統合(聞く・読む・話す・書く)**

領域統合型の活動を通して、目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合ったり、自分の考えや気持ちなどを整理して話したり、書いたりする力を養います。
聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを述べ合ったり、話したり、書いたりする力を養います。

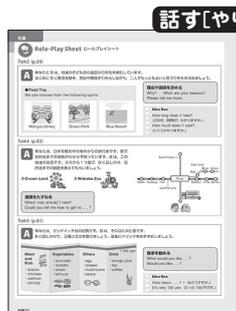
[付録]



文字を見ながら Listen の復習ができる、音声スクリプト。



読みを深め、読む力を強化するための補充の読み物。



即興でのやり取りを練習するロールプレイシート。



やり取りの活動に使える会話表現。ことばの働きごとに提示。



話す/書く活動に使えるいろいろな単語。カテゴリーごとに提示。

2. 対照表（配置や配列、配当時数の詳細は、別記カリキュラム表参照）

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容
音声・文字	<ul style="list-style-type: none"> ○Take Action! Listen / Talk <ul style="list-style-type: none"> ▶Sounds 英語のつづり・英語らしい音：単音レベルの発音とつづりの関係を考える活動です。 ▶Sounds 英語のひびき：韻律や音変化など、滑らかでリズムカルな音を意識させる活動です。 ○付録 Sounds つづりと発音：発音とつづりの関係を表にまとめてあります。 <p>※小学校で学んだ音声は、1年（Lesson 1～3の♪の部分）で復習として取り扱っています。 ※小学校で学んだ文字は、1年（Starter及びLesson 1～3）で復習として取り扱っています。</p>	(1) ア (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
符号	<p>主な符号は英文内で適切に取り扱い、初出箇所では側注 Notes に解説を加えています。 ※小学校で学んだ符号は、英文内で適切に取り扱っています。</p>	(1) イ
語、連語及び慣用表現	<ul style="list-style-type: none"> ○全課 Words：本文中に出てくる、中学校で新出の語句・表現を提示しています。 ○Starter(1年)：小学校で学んだ語句・表現を使って、聞いたり、話したりします。 ○Lesson <ul style="list-style-type: none"> ▶Drill：POINTの文法事項などを使って、ドリル練習をするための語句を提示しています。 ▶Word Bank：POINTの文法事項などを使って、Talk / Speak / Writeの短い文脈の中で話したり、書いたりする練習をするときに使える語句・表現を提示しています。 ○GET Plus <ul style="list-style-type: none"> ▶Word Bank：Exerciseの話す活動をするときに、使える語句・表現を提示しています。 ○Take Action! Listen / Talk <ul style="list-style-type: none"> ▶Expressions：聞いたり話したりするときのポイントになる語句・表現を提示しています。 ○付録 いろいろな単語、会話表現：いろいろな活動の中で使える語句・表現をカテゴリーで分けて提示しています。 ○付録 単語の意味：本課中に出てきた語句・表現を、辞書の要領でまとめて提示しています。 <p>※小学校で学んだ語句・表現は、英文内で適切に取り扱っています。 ※小学校で学んだ語は1年付録「いろいろな単語」に☆印をつけて示しています。また、特に大切なものは、英文内で取り扱い脚注に示しています。</p>	(1) ウ (ウ)(イ)(ウ)
文、文構造及び文法事項	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson POINT：各レッスンに配当された文法事項を含むターゲット文を提示しています。 ○文法のまとめ：各レッスンで学んだ文法事項などをわかりやすく解説しています。また、関連する文法事項を横断的に整理するコーナーを配置しています。 ○GET Plus Dialog：会話の場面とよく使われる表現を併せて提示しています。 ○付録 基本文のまとめ：本課中に出てきたPOINT文などをまとめて提示しています。 <p>※小学校で体験した文及び文構造のうち特に大切なものは、1年Lesson 1～3でいねいに取り扱っています。また、それ以外のものは、英文内で適切に取り扱っています。</p>	(1) エ (ア)(イ)(ウ)
言語活動① (聞く・読む)	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson USE Read：既習の文法事項を活用して、現実の使用場面に近い英文を読み、目的や場面、状況に応じて、概要や要点を捉える活動です。 ○Take Action! Listen：現実の使用場面に近い英文を聞き、目的や場面、状況に応じて、必要な情報を聞き取ったり、概要や要点を捉えたりする活動です。 ○Reading for Fun：物語の登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読む文学教材です。 ○Reading for Information：現実の使用場面に近い英文を読み、必要な情報を読み取る活動です。 ○付録 Further Reading：補充・発展的な読む活動などに選んで使える教材です。 	(2) ア
言語活動② (話す・書く)	<ul style="list-style-type: none"> ○Lesson <ul style="list-style-type: none"> ▶USE Speak：目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理して話す活動です。 ▶USE Write：目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちなどを整理して書く活動です。 ○Take Action! Talk：目的や場面、状況に応じて、即興で伝え合う活動です。 	(2) ウ
言語活動③ (領域統合型)	<ul style="list-style-type: none"> ○Project：領域統合的に、話したことを参考に書いたり、書いたことをもとに発表したりする活動と、聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考えなどを整理して、話したり書いたりする活動です。 	(2) イ

	図書の構成・内容	学習指導容量 の内容
聞くこと	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>○Lesson ▶聞いてみよう(1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を聞く活動。 ▶GET Listen：日常的な話題についての短い英文を聞く活動。</p> <p>○Take Action! Listen：日常的または社会的な話題について、現実に近い場面で話される英文を聞く活動。 テキストタイプ：商品の説明、競技会場のアナウンス、映画の紹介、ボイスメッセージ、インタビュー、天気予報など</p> <p>○付録 スクリプト：Take Action! Listen の音声スクリプト。</p>	(3) ① ア イ (7)(1)(ウ)(I)
読むこと	<p>○Starter(2,3年)：既習の文法事項を活用して、日常的または社会的な話題について書かれた、現実の使用場面に近い英文を読む活動。</p> <p>○Lesson ▶Read(1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、日常的な話題についての短い英文を読む活動。 ▶GET 本文：日常的または社会的な話題についての短い英文を読む活動。 ▶USE Read：既習の文法事項を活用して、日常的または社会的な話題について書かれた、現実の使用場面に近い英文を読む活動。 ジャンル：説明文、意見文、物語文 テキストタイプ：新聞記事、メール、ブログ記事、雑誌記事、パンフレットの記事など</p>	(3) ① ア ウ (7)(1)(ウ)(I)
話すこと 【やり取り】	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って伝え合う活動。</p> <p>○Lesson ▶話してみよう(1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って伝え合う活動。 ▶GET Talk：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って伝え合う活動。</p> <p>○Project：聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを伝え合う活動。</p> <p>○GET Plus Dialog：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って伝え合う活動。</p> <p>○Take Action! Talk：提示された場面で、即興で伝え合う活動。 テキストタイプ：チャット、目的を達成するためのやり取り、日常会話での簡単な話し合い</p> <p>○付録 ロールプレイシート：提示された場面で、即興で伝え合う活動。</p>	(3) ① ア エ (7)(1)(ウ)
話すこと 【発表】	<p>○Starter(1年)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って話す活動。</p> <p>○Lesson ▶話してみよう(1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って話す活動。 ▶GET Speak：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って話す活動。 ▶USE Speak：既習の文法事項を活用して、簡単な語句や文を使って、日常的または社会的な話題について、まとまりのある内容を話す活動。 テキストタイプ：サイコロトーク、スピーチ、プレゼンテーションなど</p> <p>○Project：聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを話す活動。</p>	(3) ① ア オ (7)(1)(ウ)
書くこと	<p>○Lesson ▶Write(1年Lesson1-3)：小学校での学びを生かし、簡単な語句・表現を使って書く活動。 ▶GET Write：日常的な話題について、簡単な語句や文を使って書く活動。 ▶USE Write：既習の文法事項を活用して、簡単な語句や文を使って、日常的または社会的な話題について、まとまりのある文章を書く活動。 テキストタイプ：申込書、メール、絵日記、マニフェストなど</p> <p>○Project：日常的または社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことに基づき、事実や自分の考えなどを書く活動。</p>	(3) ① ア カ (7)(1)(ウ)(I)
題材・場面	<p>○Lesson：音楽のある生活、インドの言語事情、佐々木禎子さんの物語、世界で人気の漫画とアニメ、キング牧師とアメリカの公民権運動、卒業スピーチ「想像と創造」、自分にとって外国語を学ぶこととは</p> <p>○GET Plus Dialog：教室での会話、プレゼントについての会話、送別会での会話</p> <p>○Take Action! Listen：避難訓練の放送、旅行の行き先の相談、ボイスメッセージ、ラジオニュース、落とし物の問い合わせ、イベントでのスピーチ</p> <p>○Take Action! Talk：おすすめの旅行先についての会話、簡単な話し合い、休み時間の会話、空港での道案内での会話、お店での会話、簡単な話し合い</p>	(3) ② ア (7)(1) イ (7)(1)(ウ)(I) (オ)

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
31-114	中学校	外国語	英語	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 903	NEW CROWN English Series 3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や取扱いに示す事項	ページ
76 2-3行目 側注	in a nation where ... 発展 where の後ろの語句が前の a nation を説明していて、 「…であるような国」という 意味になる。	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文、文構造及び文法事項 (ウ) 文法事項 a 代名詞 (b) 関係代名詞	0.25
124 10-11行目 側注	I had my hair cut off. 発展 「髪の毛を切ってもらった。」 <have + A + 動詞の過去分 詞>で「A を…してもらう」 という意味になる。	2	2 内容〔知識及び技能〕 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文、文構造及び文法事項 (イ) 文構造 d[主語+動詞+目的語+補語]のうち、 (a) 主語+動詞+目的語+{名詞, 形容詞}	0.25
合計				0.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容